

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 12日

事業所名 社会福祉法人わたむきの里福祉会 放課後クラブともだち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・部屋ごとの目的を決め、児童が分散できるようにしている。隣の施設を借用して活動を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	○			・看護師の人員確保が難しい側面がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		・できている所とできていない所がある。 ・全ての出入りにスロープがあるわけではなく、段差がある所もある。 ・車椅子を使用している児童が緊急時に避難が難しい箇所が多い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・研修の機会は随時つくっている。気軽に意見交換をしながら学べる時間を設定している。 ・外部講師を呼ぶなどして全職員対象に勉強会を開催している。	・パート職員のスキルアップも考え事例検討会型の研修を実施予定。 ・職員のキャリアに応じた研修の機会を予定している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・現在、使用しているツールが最適かどうか検討中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・絶えずチームで検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・児童に人気のある活動は繰り返し行うこともある。児童に活動希望もとっている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			・活動内容が偏らないようにしてはいるが、個別にも対応できるように進めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・特に長期休暇中はホワイトボードを活用し、共有事項を記載している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・長期休暇中にはについては、事務室のホワイトボードを活用し、共有事項を記載している。 ・対面で話すことが難しいときは、チャットツールや共有掲示板を活用している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		・法人独自の医療情報シートで連絡体制を把握している。 ・医師の指示書をお預かりしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・今年度はおられないが、卒業する児童がいる場合は積極的に情報共有をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・現場からも課題等をあげ参画していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・共通理解を持っていない保護者とそうではない保護者がいる。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者会の中で、保護者さん同士が意見交換できる時間を設けている。 ・一部の保護者しか参加されていないが、さらに沢山の保護者が参加できる環境を随時検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月発送する会報や長期休暇後の通信などお知らせをしている。
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		事業所も含め法人としてイベントを開催している。 事業所単体として、今年度検討している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			